脳幹網様体の覚醒制御における自律神経調節

山田 健太郎、鈴木 美穂

脳幹網様体は、上行性に大脳皮質へ広範な投射を送り、覚醒と睡眠の切り替えに中心的な役割を果たすことが知られている。本研究では、ラットを用いて網様体の特定領域を選択的に破壊し、脳波と心拍変動を同時に記録することで、覚醒維持に必要な領域と自律神経調節に関与する領域が解剖学的に異なることを示した。

1. はじめに

脳幹網様体は、上行性に大脳皮質へ広範な投射を送り、覚醒と睡眠の切り替えに中心的な役割を果たすことが知られている。

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論

1. はじめに

2. 方法

3. 結果

4. 考察

5. 結論